

佐渡観光復興の基本戦略

I 佐渡観光の新機軸づくり

ねらい: 魅力ある宿泊・観光施設等の創造

最近、全国的に関心が高まっている環境(エコ)と食(地産地消)を基軸にした、佐渡観光のブランド化に向けた取組を推進します。そのために、宿泊・観光施設と農林漁業者が連携した流通体制の構築やIT社会に対応した基盤整備等を推進します。

II 新たな佐渡観光の魅力づくり

ねらい: 泊数増・リピーター率向上

多様化する観光客のニーズに対し、全国から注目を集めているトキの野生復帰、佐渡金銀山等を活用し、長期滞在にも対応した魅力ある佐渡ツーリズムを開発し、販売活動を強化します。

III 行きたくなる佐渡の魅力発信

ねらい: 来訪意向の拡大

2009年新潟県大観光交流年にあたり、旅行に関心が高い客層に対し、「佐渡に行ってみよう」と思わせる佐渡の魅力発信や、効果的なプロモーション活動を展開します。併せて、佐渡観光の主要な玄関口である新潟駅周辺におけるプロモーション活動を強化・充実します。

IV おもてなしの魅力アップ

● ねらい: おもてなしの向上 ●

観光客に「佐渡ならではのおもてなし」を提供するため、宿泊・観光施設等の従業員を対象とした講習会などを実施し、サービスの質的向上を図ります。

V 佐渡観光・文化検定制度の創設

● ねらい: 観光まちづくり ●

佐渡市民が佐渡を再認識し、理解することによって、観光客に対するおもてなしの心の醸成を図ります。併せて全国からの佐渡ファン確保と来訪意欲の拡大に繋がります。

佐渡観光の復興に向けて

平成21年度の取組

市役所 観光課 ☎63-5116

「佐渡観光推進戦略会議」(委員長 木村英太郎(社)佐渡観光協会理事長)が2月26日、佐渡島開発総合センターで開かれ、佐渡観光の復興に向けた平成21年度の取組をまとめました。

同戦略会議では、佐渡観光関係者との連携強化を図りながら、「佐渡観光の新機軸づくり」「新たな佐渡観光の魅力づくり」「行きたくなる佐渡の魅力発信」「おもてなしの魅力アップ」「佐渡観光・文化検定制度の創設」の5つの戦略を柱に観光復興策を実施します。

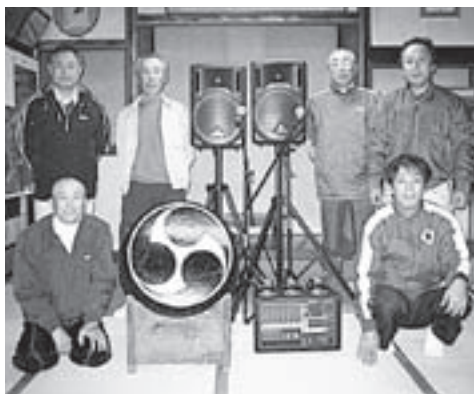
「佐渡観光推進戦略会議」は、新潟県、佐渡市、(社)佐渡観光協会の呼びかけにより、昨年12月22日に設置しました。北陸信越運輸局、北陸地方整備局のほか、佐渡汽船、新潟交通佐渡、佐渡農業



第2回戦略会議の様子(2月26日)

協同組合、佐渡地区漁協連絡協議会等の関係者で構成しています。

(財)自治総合センターでは、宝くじの普及広報を行うとともにコミュニティの健全な発展を図ることを目的として、様々なコミュニティ活動を助成しています。



城腰文化財保存会では、自治宝くじの助成金であるコミュニティ助成事業の助成を受けて、太鼓と放送設備を整備しました。これら備品を活用し、コミュニティ活動のさらなる活性化を目指します。



宝くじは
緑の下の
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

コミュニティ助成事業

市役所 企画振興課 ☎63-4152